



第39号

所場会  
行窓同  
区竜ケ馬  
水沢区水沢  
水沢高校同窓会  
0197-24-3151

先ずは「我らが母校水沢」が創立百周年を迎えましたこと、同窓生諸氏、恩師、在校生、在職の先生方並びに関係の皆様と共に、心から慶ぶと共に、このように素晴らしい百周年を迎えられましたのも、同窓生並びに皆様の何かにつづけての常に変わらぬお心遣いのお陰と深く感謝申し上げます。



### 母校 紀寿を迎えて

同窓会長 及川 源悦郎

賀会にも多数の皆様にご出席戴き、久方ぶりの出会いや昔を懐かしみながら楽しい一刻を過ごすことが出来、この上なく嬉しい限りでございました。

かくも素晴らしい百周年を迎えられましたのも、同窓生並びに皆様のご寄付をはじめ、日頃のお心遣いあってこそその賜物と改めて深く御礼申し上げます。

さて、前回の会報では触れなかった事について少し述べてみたいと思います。年配の同窓生の方々はご存知のように水沢高校として発足当時、本校には定時制分校が黒石、姉妹、南都田、若柳、金ヶ崎にありました。

昭和二十七年姉妹分校は廃止されましたが、三十年黒石分校が「水沢農業高校」に所属変更、三十四年には若柳と南都田の両分校が合併し「胆沢分校」となり、四十三年には金ヶ崎分校が「県立金ヶ崎高校」として独立。五十年には「胆沢分校」が「県立胆沢高校」としてこれまた独立。しかしこの度再び本校に統合の運びとなるなど、変化に富む歴史を歩んで来たのであります。

また、県立高校として発足した本校の校舎が龍ヶ馬場の地に完成したのは昭和二十七年で、よく「兵舎まがい」と言われておりましたが、事実、建築材は兵舎用のものだった。

たそうです。多くの同窓生諸氏の思い出深く懐かしいあの校舎も五十一年白亜の殿堂として生まれ変わり、「見晴るかす大グラウンド」の整備も着々と行われ、これまた同窓生諸氏のご寄付により百周年記念の建物として昨年「昇龍館」が完成しております。

幾多の変遷を経ながら、大きく歩んで参りました「我らが母校」ですが、この百年後に迎える二百周年では、更なる成長・発展がなされているよう熱望し、その為にも、同窓生諸氏と共に、これまで以上に母校を応援して参りたいと存じます。

### 本校創立100周年記念事業、ありがとうございました



校長 佐藤 成人

本校創立100周年記念事業の実施により、昨年22年9月には屋内運動場「昇龍館」の竣工、同年10月には記念式典の挙行、本年23年3月には記念誌の刊行と、滞りなく事業の具体が取り進められました。

これも偏に及川源悦郎同窓会長・協賛会長さん、長野耕定事業実行委員長さんをはじめとして、事業協賛会を組織され、事業の遂行に取り組まれた同窓生の皆様のお蔭であることに、本校生徒・教職員を代表致しまして、ここから感謝申し上げます。

経過をうかがいますと、平成17年10月の記念事業推進委員会設立準備会発足により、活動がいよいよ開始されたとのことでした。以来、実に5年の長きに亘つてのご準備とご尽力には、言葉に表しがたいご苦労も多々あられたことと、お察し致します。

お陰様をもちまして、ご寄贈頂きました昇龍館は、早速に、放課後の各運動部の、雨天時や冬の貴重なトレーニングの場として、基礎体力の修練の場として活用させて頂いております。併せて、体育の授業にも使わせて頂いております。「昇龍館効果」が一日も早く現れるよう、生徒諸君は

励んでおりますので、ご期待願います。

100周年記念式典には、地元をはじめ、全国各地から、たくさんの方々にご列席頂きましたことに、改めまして、御礼申し上げます。生徒諸君の感想によれば、声を掛けられて思い出話をいろいろと伺ったこと、出席者全員で声を合わせて校歌を大合唱したことなどを通して、「水高は一つだ」、「水高は誇れる学校だ」と、まさに体感できたことでした。皆様のお姿を通して、「素晴らしい水高を生徒諸君が目当たりできたこと」は、得難い貴重な機会になりました。いよいよ自信を持って、生徒諸君が進んでいくことと思っております。ありがとうございます。

さて、100周年記念事業にとどまらず、本校並びに在校生に対して、常日頃、多大のご支援を頂いておりますことに、この場をお借りして、御礼申し上げます。私は昨年4月に着任しましたが、皆様にご挨拶申し上げる機会が少なく、失礼の段、お許し願います。今年度は各地区、各支部の同窓会をお訪ねし、事業成功の御礼と学校の近況報告を申し上げる機会があるものと考えておりますので、よろしくお願い致します。

# '10 クローズアップ

※12月末日までに岩手日報と胆江日日新聞に掲載された記事を中心に集めております。他紙のものやチェック漏れで掲載できなかったものについてはご容赦下さい。

胆江日日新聞 2010年(平成22年)1月30日(土曜日)第22075号 第2社会面 6

### 佐々木努(45) 脚本監督

前区出身、83年に県立水沢高校卒業後、旧胆江町役場に就職。同町教育委員会時代の00年に担当として、前区町民劇場立ち上げに参加。第2回公演「葉の歌」(02年)、第4回公演「養生医者」(04年)の脚本を手掛ける。市役所本庁総務課勤務。同区山下在住。

#### 第一回胆江劇場『若者の風』

で、故三好三氏の脚本の脚色を手伝ったのが舞台脚本を書くきっかけだった。それが初めて大変だった。脚色だけでなく舞台をつくる楽しさを知ったと語る。

#### 第二回『ザ・シリアル』

脚本『葉の歌』を書き上げた。脚本家デビュー。何となく、書けるかなと思いつき筆を執った。はじめての脚本で、気が付いたら書いていたように思う。

#### 創作法は、作品のテーマをいっつも考えていること。メインとなる場面を構想がまれば、その前後のストーリーを固めていく。基本的に構想や展開を考えるのに時間を使い、書く作業は比較的短時間で済ませるようにしている。 三好先生の思い 舞台に 「でも『葉の歌』は脚本本よりも、キャストやスタッフの皆さんがつけてくれた舞台そのものが良かった。自分が書き上げた作品が劇となっていく。不思議な感覚がとても新鮮だった。この体験が佐々木さんを舞台の世界に引き込んだ。今回の『子育て』は、こはる作目であり、記念すべき第10回胆江劇場の脚本。三好先生が小説に込めた思いをそのままお客さんに伝えられるように、脚本にしよう」と語り、兼任する舞臺監督については「見る人を感動させる舞台が好きなので、今回もそうなるように」と笑顔を見せる。「分かんない、肩が凝らない感じ」 (報道部・宮本升平)

佐々木努(高35回・昭和58卒)胆江日日新聞

胆江日日新聞 2010年(平成22年)4月25日(日曜日)第22158号 第2社会面 10

### 中東との信頼関係重要 及川氏(水沢)が講演

共同開催 外務省関係者 及川氏(水沢)が講演

山形県外務省関係者による中東情勢に関する講演会が、25日(日)午後7時、水沢市立水沢高等学校で開かれた。講演者は、外務省国際協力本部長の及川氏(水沢)が講演した。及川氏は、中東情勢の重要性を述べ、国際協力の本質は信頼関係にあると強調した。また、水沢市が国際協力に果たしている役割についても触れた。

#### アラブ諸国の核拡散を憂慮

アラブ諸国の核拡散を憂慮する声が高まっている。及川氏は、核拡散防止の重要性を述べ、国際社会が協力して取り組む必要があると述べた。

及川仁(高32回・昭和55卒)胆江日日新聞

### メイド・イン・岩手に可能性

〇「全日製、定時労働」を掲げる人々の卒業生を送り出した盛岡工業高等専門学校。同校は、感謝状を贈った。感謝状を贈ったのは、同校の卒業生である。感謝状には、「全日製、定時労働」を掲げる人々の卒業生を送り出した盛岡工業高等専門学校。同校は、感謝状を贈った。感謝状には、「全日製、定時労働」を掲げる人々の卒業生を送り出した盛岡工業高等専門学校。同校は、感謝状を贈った。

#### メイド・イン・岩手に可能性

〇「全日製、定時労働」を掲げる人々の卒業生を送り出した盛岡工業高等専門学校。同校は、感謝状を贈った。感謝状には、「全日製、定時労働」を掲げる人々の卒業生を送り出した盛岡工業高等専門学校。同校は、感謝状を贈った。

及川久仁子(高31回・昭和54卒)岩手日報

胆江日日新聞 2010年(平成22年)4月10日(土曜日)第22144号 第2社会面 8

### 吉田新一(40) 重宝挙げスポ少監督を務める

県立水沢高校に入学して重宝挙げを始め、当時の県校記録を樹立した。大学卒業後、県高校教員に、初任の県立工業高校で重宝挙げ部を立ち上げ、インターハイ優勝選手を育成。現在勤務する母校水沢高校でも指導に当たる。

#### 吉田新一(40)

重宝挙げスポ少監督を務める。吉田新一(40)は、県立水沢高校に入学して重宝挙げを始め、当時の県校記録を樹立した。大学卒業後、県高校教員に、初任の県立工業高校で重宝挙げ部を立ち上げ、インターハイ優勝選手を育成。現在勤務する母校水沢高校でも指導に当たる。

#### 県内初の中学選手を育成

県内初の中学選手を育成。吉田新一(40)は、県立水沢高校に入学して重宝挙げを始め、当時の県校記録を樹立した。大学卒業後、県高校教員に、初任の県立工業高校で重宝挙げ部を立ち上げ、インターハイ優勝選手を育成。現在勤務する母校水沢高校でも指導に当たる。

吉田新一(高40回・昭和63卒)胆江日日新聞

## 平成二十二年度 同窓会総会・懇親会

八月十四日土曜日十四時から、水沢グランドホテルにおいて、今年度の同窓会総会が開催されました。今総会は、創立百周年記念式典を十月に控えていることもあり、招待恩師や記念催事の企画を入れずに、本来に必要な協議事項を話し合い、その後懇親を深める形式での開催となりました。お盆の中日ということもあり、昨年よりもその数を減らし、総会では四十一名の方々、懇親会には三十八名のご参加をいただきました。

ここでは、特に総会で協議された内容を掻い摘んでご報告いたします。

- ① 学校及び現役生への補助事業(セミナーハウス宿泊費補助や大会出場時の激励金など)は例年通り今年度も継続。
- ② 同窓会ホームページの運営維持経費として、今年度から継続的に本部会計より支出する。
- ③ 同窓会名簿会計と寄付金会計の積み立ててきた残金一千四百万円を百周年会計へ繰り入れる。
- ④ 平成二十三年度以降、同窓会名簿の管理の方法を改善する。

特に④の案件は、これまでと名簿管理の方法を大きく変更することなので、総会での事務局提案とその決定を次のように報告いたします。

〈事務局提案骨子〉

これまで同窓会名簿の管理は事務局で行ってきたが、データが膨大になり、管理しきれなくなっている。住所・姓の変更や逝去による発送停止の処理などに、かなりのエラーが生じ、同窓生各位に不快な思いを掛けている。

平成二十一年度以降、専従の事務局員を置くことでかなりデータの精査が進み、苦情の件数も激減したが、この体制も平成二十二年度末を以て以前の状態に戻る。そこで再びデータのエラーの増加が懸念される。また、水高同窓会は五千人を超える団体なので、個人情報保護法の規制対象になっている。そのため、同級会を開催するなどのデータ利用の際も利用者に不便をかけている。

よって、名簿のデータ管理を外部に委託契約したい。外部

委託の場合のメリットは次の通り。

- ・ 学校の職員が電話で受けた場合よりも、正確にデータを聴取できる。
- ・ 同級会などの開催時に住所ラベルのサービス(有料)が受けられる。また、代行発送(有料)なども依頼できる。
- ・ 住所不明者を今までもよりも探し出しやすい。

〈協議と結果〉

同様のサービスを行う二社の見積もりを検討の結果、川嶋印刷株式会社に業務委託することを決定。

平成二十三年度以降は、データ管理を学校事務局ではなく外部に委託することとなりましたので、その連絡先はこの会報の最終ページに掲載してありますのでご確認ください。



### 盛岡支部総会

七月九日金曜日に、サンセール盛岡で水高同窓会盛岡支部総会が開催されました。同窓会本部からは、及川源悦郎同窓会長、佐藤成人校長、鹿野聡同窓会事務局長が参加いたしました。盛岡支部は毎年総会を開催して賑やかに和やかに楽しく懇親を深めています。

今年度は、盛岡タイムズ社長 大内豊氏(昭和三十三年卒)の記念講演会を持ち、その後総会・懇親会と進められました。大内氏のご講演では、長年の鉄道マンとしてのご経験や、歴史観の実に造詣の深いお話を賜りました。総会では支部の運営についてのお話し合いが持たれ、その後すぐ懇親会へと移って参りました。懇親会の中では自己紹介もあり、その中には創立百周年記念祝賀会で生演奏を披露していただいたポラーノ弦楽合奏団の団員の方もいらっしゃいました。時間になると三時間程度の短いものですが、本当に心ゆくまで楽しい一時を過ごしました。

盛岡支部では平成二十二年度をもって、支部長が鈴木伸一氏(昭和二十六年卒)から、先にご紹介しました大内豊氏に交代いたしました。

▲盛岡支部総会集合写真

### 6年後のゴールへキックオフ

佐藤 訓久さん (29)

本県で16(平成28)年に開催される岩手県体の女子サッカーチーム監督に就任した佐藤訓久さん(29)が、6年後のゴールへキックオフを誓っている。佐藤さんは、岩手県立水沢高等学校からサッカー選手として活躍し、現在は岩手県立水沢高等学校サッカー部監督として活躍中。6年後のゴールへキックオフを誓っている。



佐藤訓久(高51回・平成11卒)胆江日日新聞

### 2010年(平成22年)10月29日(金曜日)

#### オシム元代表監督の通訳

千田善(高29回・昭和52卒)岩手日報

オシム元代表監督の通訳を務めた千田善さんが、盛岡市で講演を行った。千田さんは、オシム監督の通訳を通じて、オシム監督の熱い心と情熱を伝えている。



### 市教育長に就任した

佐藤 孝守さん (59)

水沢高、岩手大教育学部卒業。73(昭和48)年に神奈川県教育委員、水沢小教諭、水沢教育事務所主任指導主事、宮古一開教育事務所所長などを歴任し、07年に水沢中校長、前地区校長に就任。



福井敬(高33回・昭和56卒)胆江日日新聞

### 内閣府 平野氏(選挙区)副大臣に

きょう就任 国家戦略を担当

平野 達男氏

内閣府副大臣に就任した平野達男氏。国家戦略を担当する。平野氏は、選挙区である岩手県を代表して、国家戦略の推進に取り組む。



平野達男(高25回・昭和48卒)岩手日報


### 水沢区 福井敬(高33回)のスピーチ

水沢区 福井敬(高33回)のスピーチ。水沢区民の皆さんへ、水沢区が抱える課題と、水沢区が取り組んでいる取り組みについて話した。



### 水沢区 福井敬(高33回)のスピーチ

水沢区 福井敬(高33回)のスピーチ。水沢区民の皆さんへ、水沢区が抱える課題と、水沢区が取り組んでいる取り組みについて話した。




福井敬(高33回・昭和56卒)胆江日日新聞

### 日ごろの感謝 歌に込め

佐藤 タミ子さん (72)

「高松チャイルドにも暮らしのり」の制作に携わった佐藤タミ子さん(72)が、日ごろの感謝を歌に込めて、感謝状を贈った。佐藤さんは、高松チャイルドのスタッフやボランティアの方々に感謝を込めて、感謝状を贈った。



佐藤タミ子(高8回・昭和31卒)胆江日日新聞

### 2010年(平成22年)7月12日(月曜日)

#### 研修成果、現場に還元を

研修成果を現場に還元する。研修生が現場で学んだことを、現場のスタッフに伝える。現場の改善に貢献する。



### 市教育長に就任した

佐藤 孝守さん (59)

水沢高、岩手大教育学部卒業。73(昭和48)年に神奈川県教育委員、水沢小教諭、水沢教育事務所主任指導主事、宮古一開教育事務所所長などを歴任し、07年に水沢中校長、前地区校長に就任。



佐藤孝守(高21回・昭和44卒)胆江日日新聞

### 地域医療 再生への道

地域医療の再生。地域医療の重要性を説き、再生への道を模索する。地域医療の再生は、地域住民の健康を守るために不可欠である。



### 阿部礼司(高33回)岩手日報

阿部礼司(高33回)岩手日報。阿部さんは、地域医療の再生に取り組んでいる。阿部さんは、地域医療の再生に取り組んでいる。



阿部礼司(高33回・昭和56卒)岩手日報

歯学博士、日本歯科大学定岡歯病専門医、岩尾科大歯学部非常勤講師を務める。市フリースクール協会会長という横顔も。母校水高では通算9年間、PTA会長や副会長などを歴任。水沢区笠井町。



歯科保健功労で大臣表彰を受けた

油井 孝雄さん (64)

長年にわたる歯科保健事業への貢献が認められ、厚生労働大臣表彰に輝いた。本県で唯一の歯科医大である、岩手医科大学歯学部へ。78(昭和53)年、水沢区笠井町に歯科医院を開業した。06年、市歯科医師会会長(06-09年)を歴任。この間、保健所と連携し、保健医療福祉施設職員の口腔保健研修会を開催。学校などの保健関係者にも対象を拡大した。

のめり込んだ天職

取り組みは、NPO法人「歯を診ていく」を設立。それが希望の幅を広げた。「天職はすべての医療の基本」と考える。09年までの21年間、県警署に勤務し、歯科医として歯を診ていく。それが希望の幅を広げた。「天職はすべての医療の基本」と考える。(報道部・千葉一郎)

油井孝雄(高17回・昭和40卒)胆江日日新聞



厚労省局長感謝状を受けた薬剤師

小野寺 女理さん (62)

父が開業医、母は薬剤師という環境で育ち、自然な流れで薬学に興味を持った。大学卒業後、研究員として民間会社に就職。その後帰郷し、まもなく、厚労省で35年間薬剤師として勤務した。

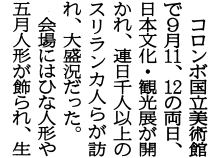
微力でも郷里に恩返し

院内での薬剤師業務に加え、89(平成25)年から旧胆沢町内小中学校の学校薬剤師を担当。92年から小中学生を対象

小野寺女理(高19回・昭和42卒)胆江日日新聞

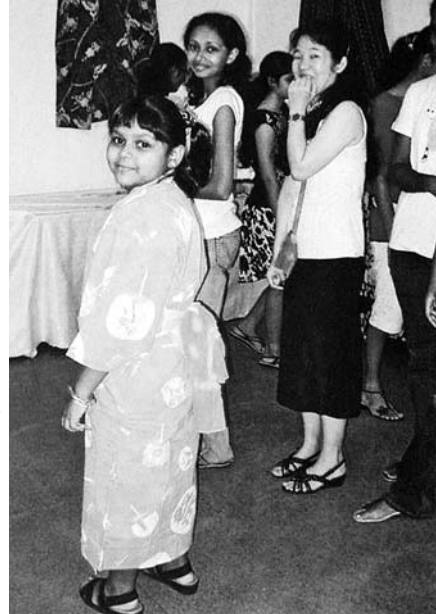
世界は

果人リポート



青沼国夫さん(スリランカ)

け花や盆栽約100点。折り紙約40点が展示され、日本の観光をDVDで紹介した。着物や浴衣の試着も行われ、来場者が日本の伝統衣装で写真に納まる光景も見られた。



日本文化・観光展で浴衣を試着して笑顔を見せるスリランカ人の少女

日本文化に熱視線

お茶、書道、生け花、折り紙、盆栽は1日2回、午前午後後に実施。好協会「ランカシャ」が主催してきた。動きを続けていた教師会。今年から同展は教師会が主催して来た。今年から同展は教師会が主催して来た。今年から同展は教師会が主催して来た。

同展は今年で15回展の開催当初からの。日本人の心を理解し出したのがスリランカは日本大使館に勤務し、26年のベトナム、2009年、同展は今年で15回展の開催当初からの。日本人の心を理解し出したのがスリランカは日本大使館に勤務し、26年のベトナム、2009年、同展は今年で15回展の開催当初からの。

会場では日本文化の美演を担当したのは、お茶と書道の先生を除いてすべてスリランカ人だった。彼らにとって日本はあこがれの場所だ。スリランカ文化の一端を紹介する展示会だったが、日本人の心がスリランカ人に伝わった。日蘭だっと思

青沼国夫(高24回・昭和47卒)岩手日報

エッセー集

社会起業家の原風景 一冊に



母の深い愛、固い友情、青春時代の思い出。物質的に豊かではないが皆が笑顔で暮らしていた。昭和30年代の日本の農村風景がよみがえる。そこから、本当の豊かさとは何かを問い掛けている。

藤田和芳(高17回・昭和40卒)胆江日日新聞

ごみ焼却熱で一年の清め。小沢昌記市長は「環境対策を徹底したい」と満腹。1年目のリンゴはまだ食用には適さないと、松任谷のリンゴはもう食べられない。小沢市長は「環境対策を徹底したい」と満腹。1年目のリンゴはまだ食用には適さないと、松任谷のリンゴはもう食べられない。

小沢昌記(高29回・昭和52卒)岩手日報

# 岩手県立水沢高等学校創立100周年記念行事



### 協賛会会長挨拶

岩手県立水沢高等学校創立百周年記念式典の挙行に際しまして、この事業の協賛会を代表してご挨拶を申し上げます。

本日はご来賓の皆様、同窓生各位、保護者の皆様、教職員の皆様、在校生諸君が一堂に会しまして、このように盛大な記念式典を迎えましたことは誠に意義深く、心からお祝いを申し上げます。また、記念事業を推進するに当たり、奥州市、金ケ崎町を始めとして市内の企業体、同窓生各位から多くのご寄付を賜り、そのお陰をもちまして、記念事業を推進できましたことに衷心より感謝を申し上げます。

本校は明治四十四年四月に胆沢郡立実科高等女学校として創立して以来、時代の要請と進展に伴い、大正十五年には岩手県立水沢高等女学校となり、昭和二十三年には学制改革により県立水沢中学校及び県立水沢商業学校との統合、そして商業科及び各分校の分離独立、さらには昭和四十四年には理数科の設置など、幾多の変遷を重ねながら、百年の歴史を刻んで参りました。昭和五十二年には現在の岩手県立水沢高等学校の白亜の校舎が落成し、併せて志學館の建築など環境整備を進め、県南地域の学究活動のセンターとしての役割を果たして参りました。

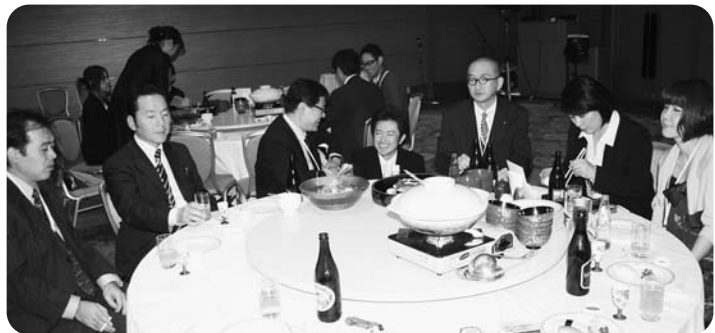
本校の百年間の歴史を顧みると、卒業生は二万名を越え、社会に有為な人材を多数輩出して参りました。このような優れた諸先輩方を仰ぎ見るにつけ、本校の優れた教育環境のありがたさを実感するところで、これもひとえに、これまで本校を支え続けて下さった関係各位並びに歴代の校長先生、教職員、保護者の皆様のご指導と愛情、さらには地域社会からの期待、そしてそれに応える生徒諸君の奮起があったからこそと、しみじみと感じる次第です。

今日の社会は変化が大きく、ボーダレス化が進展しています。私たちには現実に対応する能力と、揺らがないう精神が求められます。「友愛・清新・気魄」をモットーとし、文武に渡って日々精進を重ねる本校で培われた能力と精神が、今後の社会では一層重要となります。そのような中で、本校はいよいよ新しい世紀を迎えます。これまでの水高の歴史を鑑み更なる飛躍のために、今後の生徒諸君の活躍に期待するとともに、関係する皆様のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

最後に、ご参会の皆様のご発展と、「我が母校」水沢高校の躍進を祈念し、ご挨拶の言葉といたします。

平成二十二年十月十六日  
岩手県立水沢高等学校創立百周年記念事業協賛会  
会長 及川 源悦郎

## 〈記念祝賀会〉



### 経過報告

- 平成17年10月22日(土) 創立100周年記念事業推進委員会(仮称)設立準備会発足
- 平成18年9月30日(土) 水沢グランドホテル
- 平成18年9月30日(土) 第2回創立100周年記念事業推進委員会(仮称)設立準備会(規約、組織について提案、協議) 水沢グランドホテル
- 平成19年6月22日(金) (規約、組織について提案、協議) 水沢グランドホテル
- 平成19年6月22日(金) 岩手県立水沢高等学校創立100周年記念事業協賛会設立準備会及び同窓会役員会、水高会議室(100周年記念事業計画案の提案、規約、組織、建設場所、施設計画内容、規模、概算事業費)
- 平成19年9月10日(月) 第2回協賛会設立準備会 水沢サンパレスホテル
- 平成20年2月6日(水) 平成20年2月6日(水) 第3回協賛会設立準備会(具体的事業計画提案協議水沢サンパレスホテル)
- 平成20年2月19日(火) 定例職員会議 100周年記念事業構想報告(平成20年2月6日協賛会準備会の検討結果報告)
- 平成20年3月5日(金) 同窓会役員会 水高会議室(創立100周年記念事業に係る実行委員会協議結果報告)
- 平成20年5月14日(水) 同窓会役員会 水沢グランドホテル 創立100周年記念事業基本構想について
- 平成20年6月19日(木) 第4回協賛会設立準備会 水沢サンパレスホテル24名参加
- 平成20年8月9日(土) 規約、組織、記念講演講師について
- 平成20年8月9日(土) 同窓会総会 水沢グランドホテル(招待恩師：主浜勉氏、添田均氏、講演なし)
- 平成20年8月25日(月) 第5回協賛会設立準備会 水高会議室
- 平成20年10月18日(土) 創立100周年記念事業協賛会設立総会(38名) 於水沢グランドホテル
- 平成20年11月7日(金) 川嶋印刷からフリガナ不明者のリストを受領。周年誌概要作成(80周年)
- 平成20年11月10日(月) 第1回校内事務局会議 於同窓会室
- 平成20年11月11日(火) 第1回建設委員会 一関第一高校野球屋内練習場を視察、建設委員長に羽岡同窓会副会長を選出
- 平成20年11月26日(水) 第2回建設委員会 高田高校屋内運動場視察
- 平成20年11月27日(木) 周年誌概要作成(80周年)
- 平成20年12月3日(水)
- 80周年誌年表復元作業
- 平成20年12月4日(木) 平成20年12月4日(木) 100周年記念誌第1回編集会議(7名)
- 平成20年12月22日(月) 100周年協賛会長名義で岩銀口座開設
- 平成21年1月22日(火) 記念誌第2回編集委員会(7名 同窓会室)(朝倉牧子先生宅へ鈴木委員長、鹿野、吉田が訪問)
- 平成21年1月27日(火) 第3回建設委員会
- 平成21年2月16日(月) 協賛会第1回役員会(25名) 於：会議室 設計内容の提示、説明年表作業(3/31)
- 平成21年3月6日(金) アメリカーノ・スカロラ・理数高校へ派遣
- 平成21年3月18日(水) 第2回校内事務局会議(100周年課H21年度準備)
- 平成21年3月27日(金) 協賛会第2回役員会(26名) 於：会議室
- 平成21年4月20日(火) PTA役員会(100周年記念事業の経過報告と協力依頼)、多目的運動場建設地質調査開始
- 平成21年4月21日(火) 事務局員応募者11名との面接及び採否決定、面接は本校事務局職員が担当
- 平成21年4月22日(水) 事務局員採否決定通知書を送付、定例職員会議今年度の活動提案、協力依頼
- 平成21年5月10日(日) 事務局員(菊池さん)勤務開始、協賛会長、実行委員長、挨拶大運動会、「薬け、新たな歴史〜飛龍二世紀〜」看板立てる
- 平成21年5月13日(水) 平成21年度第1回同窓会役員会
- 平成21年5月15日(金) スローガン横断幕納入
- 平成21年5月19日(火) 多目的運動場建設業務委託契約(1月7日付け)
- 平成21年6月3日(水) 寄付採納事前協議で校長先生県へ、あと500日
- 平成21年6月18日(木) 第3回協賛会役員会 水沢サンパレスホテル
- 平成21年7月10日(金) 同窓会盛岡支部総会(会長、校長、事務局長)
- 平成21年7月13日(月) 多目的運動場建設設計図書完成・受取
- 平成21年7月14日(火) 第1回募金専門委員会 会議室 25名
- 平成21年7月21日(火) 第1回式典・祝賀会合同専門委員会 会議室
- 平成21年8月1日(土) 水沢さつぷあ祭りに職員有志参加 13名
- 平成21年8月8日(土) 同窓会・百周年記念事業協賛会総会グランドホテル(78名参加)募金 406人から393万円7/31現在
- 平成21年8月30日(日) 第2回式典・祝賀会合同専門委員会
- 飛龍祭 同窓会・99周年記念展示



〈昇龍館引渡式〉



〈昇龍館〉

- 平成21年9月7日(月) 記念誌編集専門委員会
- 平成21年9月9日(水) 第5回校内事務局会議
- 平成21年9月30日(水) 募金免税申請関係文書作成(事務局)
- 平成21年10月14日(水) 第4回式典委員会 第3回祝賀会専門委員会
- 平成21年10月28日(水) 金ヶ崎町長に協賛のお願い 校長
- 平成21年11月8日(日) 奥州市長に協賛のお願い
- 午前：記念誌座談会
- 午後：高野喜美子氏宅 取材
- 平成21年11月14日(土) 関東地区同窓会総会 東京グリーンパレス 会長、実行委員長、校長ら6名参加
- 平成21年11月20日(金) 第2回募金専門委員会(22名)
- 平成21年12月1日(火) 第5回建設専門委員会 会議室
- 平成21年12月10日(木) 第4回祝賀会・行事専門委員会(20名)
- 平成21年12月25日(金) 募金のお祝い、同窓生宛13,795通発送
- 平成22年1月22日(金) 仙台支部同窓会総会
- 平成22年2月12日(金) 第5回式典・祝賀会合同専門委員会(21名)
- 平成22年2月18日(木) 第6回建設委員会(11名)
- 平成22年2月26日(金) 第3回募金専門委員会(18名)
- 平成22年3月23日(火) 同窓会報第38号発送
- 平成22年4月22日(木) 協賛会第4回役員会 水沢サンパレスホテル
- 平成22年5月7日(金) 第6回祝賀会専門委員会
- 平成22年5月7日(金) 建設業者契約・安全祈願祭
- 平成22年5月13日(木) 協賛会第5回役員会 水高会議室
- 平成22年5月17日(月) 編集委員会
- 平成22年5月19日(水) 建設工事打ち合わせ・第1回全体工程会議 副校長、事務長、主査、吉田、田中、千田、久慈、浅間建設
- 平成22年5月31日(月) 編集委員会
- 平成22年6月7日(月) 第9回校内事務局会議
- 平成22年6月15日(火) 第10回校内事務局会議
- 平成22年6月18日(金) H22年度協賛会総会
- 平成22年6月27日(日) 水沢サンパレスホテル(参加50名)
- 平成22年7月1日(木) 建設工事第3回全体工程会議
- 平成22年7月8日(木) 第6回式典専門委員会 水高会議室 感謝状進呈団体、記念品について
- 平成22年7月14日(水) 記念誌座談会II(7名)
- 平成22年7月20日(火) 第1回校内編集委員会 記念誌の内容と執筆役割分担の確認
- 平成22年7月22日(木) 第4回募金委員会 水高会議室 到達状況と「最後のお祝い」について
- 平成22年7月29日(木) 建設委員会(工事費用の追加)
- 平成22年8月12日(水) 第7回祝賀会・行事専門委員会 水高会議室
- 平成22年8月12日(水) 水沢信用金庫(募金協力要請)及川会長、長野実行委員長、山口副校長、大内事務局長
- 平成22年8月14日(土) 協賛会第2回実行委員会、同窓会総会
- 平成22年9月3日(金) 校内式典委員会 小会議室(式典進行要領検討、台本作成)
- 平成22年9月6日(月) 第12回校内事務局会議(前日・当日の日程について)
- 平成22年9月7日(火) 参加者氏名等確定作業 校内係主任会議 第8回祝賀会・行事専門委員会 水高会議室
- 平成22年9月13日(月) 校務運営委員会(100周年に関わる日程と取り組みについて)
- 平成22年9月15日(水) Zホール舞台関係係打合せ、屋内運動場完成検査
- 平成22年9月17日(金) 職員係進捗状況確認、前・当日の日程について(定例職員会議)
- 平成22年9月18日(土) 協賛会第6回役員会・引渡式
- 平成22年9月20日(月) 協賛会第3回実行委員会 水高会議室 (福井敬コンサート)
- 平成22年10月6日(水) 式典係最終打合せ 17:00 小会議室
- 平成22年10月15日(金) 式典リハサル、準備
- 平成22年10月16日(土) 創立100周年記念式典・記念講演会・祝賀会 第4回実行委員会
- 平成22年10月26日(火) 100周年式典出席礼状発送
- 平成22年10月29日(金) 奥州市、金ヶ崎町、水沢信金等お礼挨拶回り(協賛会長、実行委員長、校長、副校長)
- 平成22年11月2日(火) 同窓会通信・式典特集号作成
- 平成22年11月16日(火) 第14回校内事務局会議
- 平成22年11月19日(金) 協賛会第7回役員会・第5回実行委員会 水沢サンパレスホテル
- 平成23年2月18日(金) 協賛会第8回役員会・第6回実行委員会 水高大会議室
- 平成23年3月19日(土) 協賛会解散会 水沢グランドホテル

### 平成22年度部活動の記録

#### 《運動部》

##### ○野球部

・高校野球県予選  
1回戦 水沢 4-10 盛岡農  
2回戦 水沢 15-10 紫波総合  
3回戦 水沢 11-1 福岡  
4回戦 水沢 2-10 久慈  
準々決勝 水沢 0-13 一関学院  
☆ベスト8!

##### ○男子サッカー部

・2010 i-League U-18 season 8  
☆前半戦11チームのリーグ戦 (3部南リーグ)  
☆選手権県予選の出場権獲得  
☆後半戦前半戦上位6チームのリーグ戦  
3勝2分で2位  
☆新人戦の出場権獲得  
☆2部昇格!

##### ○女子サッカー部

・高校総体  
決勝 水沢 2-10 不来方  
☆2年ぶり17回目の優勝 (東北大会出場)  
1回戦 水沢 0-14 千葉学園(青森)  
新人大会  
決勝 水沢 1-10 花北青雲  
☆2年連続15回目の優勝

##### ○男子バレーボール部

・高校総体  
3回戦 水沢 0-12 盛岡三(ベスト16)  
第63回全国高校選手権大会  
岩手県予選地区予選  
リーグ戦 3勝1敗 3位  
新人大会地区予選  
リーグ戦 3勝2敗 3位  
第63回春の高校バレー岩手県大会  
3回戦 水沢 0-12 盛岡南  
○女子バレーボール部  
高校総体

##### ○女子バレーボール部

・高校総体

・2回戦 水沢 0-12 盛岡女子  
第63回春の高校バレー岩手県大会  
2回戦 水沢 0-12 盛岡二  
○男子バスケットボール部  
高校総体  
3回戦 水沢 73-90 花巻東  
県高等学校選抜バスケットボール大会  
1回戦 水沢 77-95 不来方  
○女子バスケットボール部  
高校総体  
4回戦 水沢 42-99 白百合  
県総合バスケットボール選手権大会  
1回戦 水沢 111-66 CLIPERS  
準々決勝 水沢 37-79 白百合 (ベスト8)

・県高等学校選抜バスケットボール大会  
2回戦 水沢 49-101 白百合  
○男子ハンドボール部  
県南春季ハンドボール選手権大会予選  
リーグ戦 0勝3敗(予選敗退)  
高校総体  
2回戦 水沢 15-50 盛岡南 (8-24, 7-26)

・新人大会  
1回戦 水沢 10-52 盛岡市立 (5-26, 5-26)  
○女子ハンドボール部  
県南春季ハンドボール選手権大会予選  
リーグ戦 1勝2敗(予選敗退)  
高校総体  
2回戦 水沢 4-53 白百合

・新人大会  
1回戦 水沢 2-61 不来方 (1-29, 1-32)  
○男子ソフトテニス部  
高校総体  
団体戦  
水沢 1-2 遠野  
個人戦  
山形 佐々木 3-4 遠野

○女子ソフトテニス部  
団体戦  
水沢 1-2 遠野  
個人戦  
山形 佐々木 3-4 遠野  
新人大会  
個人戦 1-2 大船渡  
団体戦 1-2 大船渡  
個人戦 佐々木 4-13 高田  
佐々木・小原 3-14 盛岡工  
金田・横山 2-14 花北青雲  
辻山・佐藤 0-14 遠野  
大船渡

・高校総体  
◎個人戦  
佐々木・村上 1-14 久慈  
氏川・板宮 2-14 北上翔南 (ベスト16)

◎団体戦  
水沢 0-3 宮古  
新人大会  
◎団体戦  
水沢 0-12 花巻南 (ベスト16)  
☆選抜大会進出  
◎個人戦  
氏川・板宮 1-4 不来方

○男子バドミントン部  
高校総体  
◎学校対抗  
3回戦 水沢 2-3 盛岡大附  
◎個人戦  
高橋敏・鈴木健裕組 0-12 前沢  
新人大会  
◎団体戦  
水沢 0-13 前沢  
3決勝 水沢 0-13 花北青雲  
☆8年ぶり東北大会出場

◎個人戦  
高橋敏・鈴木健裕組 0-12 一関一 (ベスト16)  
3回戦 水沢 0-12 一関一 (ベスト16)  
竹内・吉田組  
2回戦 水沢 1-12 久慈東

○女子バドミントン部  
高校総体  
◎学校対抗  
1回戦 水沢 1-3 岩手女子  
新人大会  
◎団体戦  
水沢 1-3 千厩(ベスト16)  
◎個人戦  
油井・佐々木組 0-12 盛岡市立  
2回戦 水沢 0-12 盛岡市立  
○男子剣道部  
高校総体  
団体戦  
一回戦 水沢 0-13 不来方  
個人戦 佐藤・高橋が出場し、ともに二回戦敗退  
新人大会  
団体戦 水沢 1-12 盛岡商  
個人戦 高橋は準々決勝で敗退

○女子剣道部  
高校総体  
団体戦  
準々決勝 水沢 0-13 宮古  
個人戦 阿部は二回戦、菅原は三回戦で敗退  
新人大会  
団体戦 水沢 2-13 盛岡一  
一回戦 田村は三回戦、蘇武は二回戦で敗退

○空手道  
東北空手道選手権  
◎女子個人形  
2回戦 石川紗有 1-4 福島  
1回戦 石川紗有 2-4 男鹿工業

○柔道部  
高校総体  
【男子】  
◎団体戦(予選リーグ)  
2回戦 水沢 0-15 盛岡中央  
◎個人戦  
81kg級 松川慶次 ベスト16

◎団体戦  
1回戦 水沢 0-12 一関第二  
1・2年生体重別柔道選手権大会  
◎1年生  
100kg級 吉田純平 (ベスト8入賞)  
kg超級 千葉翔 (ベスト8入賞)  
鈴木賢太 (ベスト8入賞)

○ラグビー部  
第89回全国大会岩手県大会  
2回戦 水沢 57-10 盛岡農  
◎個人戦  
水沢 0-15 盛岡南  
◎団体戦  
水沢 0-14 (ベスト16)  
3回戦 水沢 0-14 (ベスト16)  
◎個人戦  
90kg級 1-12 吉田純平 (ベスト8)  
☆団体・個人とも全国高等学校柔道選手権大会岩手県大会に出場  
全国高等学校柔道選手権大会岩手県大会

# 現役生の活躍

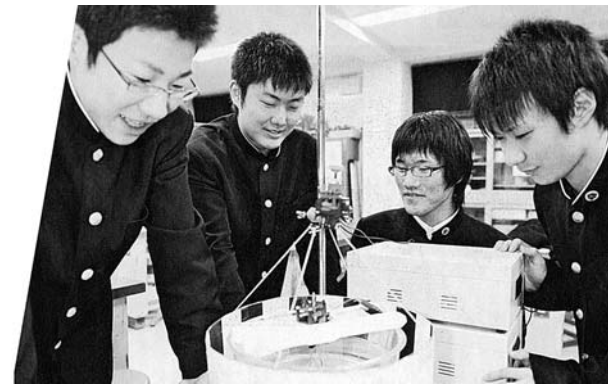
〈岩手日報 2011年1月15日の記事より〉

## 科学の世界手携えて



理科課題研究発表会で、アブラナ科植物の形態に関して発表する(左から)松坂夏未さん、千葉剛大君、佐藤瀬菜さん、佐藤華奈さん、松浦菜都美さん

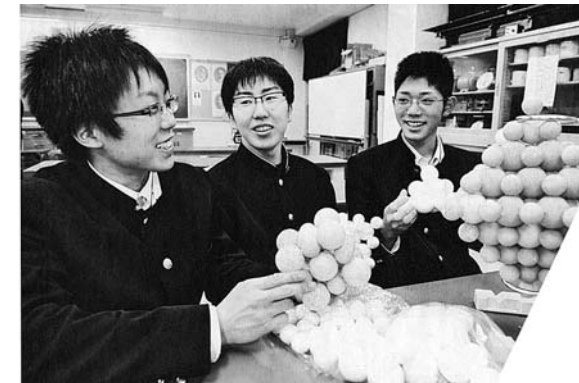
文部科学省のスーパーサイエンスハイスクール(SSH)に指定されている水沢高校(佐藤成人校長、生徒843人)で平成23年1月14日(金)に理数科2年生の課題研究発表会が開かれました。約120人が来場。プロジェクトを使って1班が10分ずつ発表し、発表後には参加した大学教授らから次々と質問を受けました。課題研究は同校SSHの中心となる事業で、2010年度は物理、生物、化学、数学の分野で身近な植物研究から超伝導までテーマごとに班を構成し、研究の目的から進め方、実験器材の製作まで自分たちで考えながら行いました。



### メダカの定位行動

外側の模様を動かした状態で円形水槽に水流を作りメダカの定位行動を観察する(左から)及川優介君、佐藤翼君、竹田諒馬君、菊地雄大君

## 創造力は果てしなく



### クエン酸添加の塩化ナトリウムの結晶構造

模型を作成しクエン酸を添加した塩化ナトリウムの結晶構造の解明に挑む(左から)千田浩大君、井上拓弥君、菊池伶君

### その他の課題研究の発表

- 耐震構造  
佐々木駿君、佐藤大君、菅原陽輔君
- The グラスハープ～  
形状の差異による振動特性の解明  
河東田研君、金野良介君、菅原惇君、山本翔君

スーパーサイエンスハイスクール(SSH)とは  
文部科学省が先進的な理科・科学教育を重点的に行う高校を指定する制度。将来の国際的な科学技術系人材の育成を目的に2002年度に始まった。2010年度は全国125校、東北では8校が指定されています。水沢高校は本県唯一のSSHとして2003年度に初指定されています。

後輩も頑張っています

最近3年間の大学合格状況

Table with columns for year (20, 21, 22) and rows for various universities and departments, including national and private institutions.

- List of award winners and recipients for various categories like '小説部門' (Novel), '文芸誌部門' (Literary Magazine), and '短歌部門' (Haikai).

- List of award winners and recipients for categories like '書道部' (Calligraphy), '美術部' (Art), and '弓道部' (Archery).

- List of award winners and recipients for categories like '短評同好会' (Short Review Club), '表彰賞' (Award), and '陸上部' (Track & Field).

- Continuation of award winners and recipients for categories like '卓球部' (Table Tennis), '高校総体' (High School General Meeting), and '弓道部' (Archery).

- Continuation of award winners and recipients for categories like '水泳部' (Swimming), '陸上部' (Track & Field), and '文化部' (Culture).

- Continuation of award winners and recipients for categories like '文化部' (Culture), '吹奏楽部' (Wind Ensemble), and '音楽部' (Music).

平成二十二年職員異動 (Staff Changes in Heisei 22). Includes sections for '転入' (Transfer In), '転出' (Transfer Out), and '退職' (Resignation) with names and titles.

- Additional award winners and recipients for categories like '百人一首' (100 Poems) and '文芸部' (Literary Club).

文化部 (Culture Department). Details about the '吹奏楽部' (Wind Ensemble) and '音楽部' (Music Department) activities, including performances and awards.



〔同窓会へのご寄付〕(平成23年1月末現在・敬称略)

村 上 倍 達	鈴 木 徳	木 村 恵 也	朝 倉 宏 哉
宮 澤 春 吉	森 房 子		

〔水高育英会へのご寄付〕(平成23年1月末現在・敬称略)

安 藤 利 勝	池 田 美 沙 子	板 屋 欣 治	伊 藤 藤 梧 郎
及 川 修 修	及 川 源 悦 郎	及 川 征 一	岡 村 朋 子
小 野 田 富 男	小 野 寺 清 哉	小 野 寺 武 夫	小 野 寺 宣 文
小 原 謙 謙	小 原 壯 次	鎌 田 眞 之 助	菊 地 吉 利
小 木 村 惠 謙 也	後 藤 康 次	今 野 野 眺	佐 藤 藤 洋
佐 藤 成 人 子	菅 原 正 夫	高 野 野 鴻 佑	高 羽 高 橋 岡
田 中 倭 子	千 田 捷 熙	千 葉 龍 二 郎	高 羽 森 陽
蜂 谷 義 昭	藤 田 春 芳	村 上 倍 達 子	山 口 成 実
山 口 成 実	山 根 明 穂	芳 沢 蓆 子	

同窓生の著書(図書館への寄贈本)

金澤 早苗(昭和32年卒)『野の花』  
 小野寺金雄(昭和39年卒)『言霊に見ゆ 現代語・古語変換一覧』  
 大内 豊(昭和32年卒)『戦争史資料が語る人物伝太平洋戦争』  
 高橋タミ子(昭和32年卒)『句集 姫女苑』  
 松本 啓(昭和29年卒)『近代』イギリス文化論の底流』

このほかにも、たくさんの書籍のご寄贈を賜り感謝申し上げます。また、書籍以外に100周年記念誌のための諸資料も拝受しております。ありがとうございました。

平成23年以降 同窓会事務局電話番号の変更について(お知らせ)

これまで同窓会事務局は、水沢高等学校の電話番号を共用しておりましたが、平成23年以降は独立した電話も設置いたします。特に、住所や姓の変更など、同窓生としての籍の異動につきましては新たに設置した電話でのみご連絡を承ります。籍の異動については、学校へお電話をなさっても受け付けられませんので、ご注意ください。なお、事務局への一般連絡やご質問などは、これまで通り学校の電話へご連絡をお願いいたします。

同窓会専用フリーダイヤル TEL・FAX(兼用) **0120-191-544** (籍の異動に関わる連絡)

学校の電話番号・FAX 兼用 **0197-24-3151**(事務局への一般連絡)

ホームページアドレス <http://www2.iwate-ed.jp/msw-h/>

メールアドレス [yukinokisyo@msw-h.iwate-ed.jp](mailto:yukinokisyo@msw-h.iwate-ed.jp)

ご注意ください!

最近、名簿ご購入のご案内が同窓生各位へ郵送されている模様です。この「岩手県立水沢高等学校職業別名簿」(学芸出版株式会社 刊)は、同社の独自の調査に基づいた名簿のようです。本同窓会からの情報の提供は一切致しておりませんので、ご承知おきください。なお、このお知らせは同社の営業活動を妨害する意図ではございませんので、ご購入の可否につきましては、各位のご判断をお願いいたします。

◇事務室からのお知らせ◇

卒業生等が卒業証明書等の交付を受ける場合、手数料が必要です。一通あたり、400円分の岩手県収入証紙を添付して申請して下さい。詳しくは水沢高校ホームページをご覧ください。事務室までお問い合わせ下さい。

編集後記

今年度の大きな事業である創立100周年記念式典が無事に挙行できました。これもひとえに同窓生諸氏を始めとして、在校生諸君や地域の皆様のおかげであると感謝いたしております。また、完成しました「昇竜館」も生徒諸君の部活動に活用させていただきます。今後の更なる大きな成果へ繋がっていくことと期待が高まっています。皆様からの、今まで以上のより一層のご支援とご声援をいただければ幸いです。ありがとうございました。

平成23年度 岩手県立水沢高等学校 同窓会 総会

日時 平成23年 8 月 6 日(土)  
場所 水沢グランドホテル 水沢区東町40  
TEL 25-8311